



学 び 舎 R7

城山小学校だより第20号

令和7年12月5日 文責 荒木 浩雄

修学旅行～長崎・佐世保方面～



6年生は、11月26日(水)・27日(木)に1泊2日の修学旅行を行いました。初日は、原爆資料館見学やフィールドワーク(被爆遺構めぐり)、平和集会を行いました。子どもたちは、「長崎平和ガイド」の方からの説明をメモしながら学びを深めていました。また、戦争被爆体験者：城臺美彌子(じょうだい みやこ)さんからの被爆体験講話では、被爆者の思いを受け止め、真剣に話を聞き、平和の大切さ、命の大切さを改めて考えました。熱心に話を聞く子どもたちの態度に講師の話にも熱が入っていました。子どもたちは、これまで学校で学習してきたことを自分の目で見て、耳で聞くことでさらに理解を深めたことと思います。世界で唯一の



被爆国である日本に住む人として、戦争・原爆の悲惨さ、平和の尊さを自らの肌で実感できたのではないかと思います。

2日目のハウステンボス見学では、午前中、雨が降ったりしましたが、午後からは晴れ間も見られました。子どもたちは、事前に計画していたアトラクションに入ったり、建造物や展示物を見たり、お目当てのお店で昼食を摂ったり、お土産を購入したりして班員のみんなと協力しながら楽しめている様子でした。仲間とともに2日間学び、過ごしたことで絆も深まったことと思います。集団で共同生活を行うことで、自分のやりたいことをする楽しさよりも、返事や挨拶、反応すること等々すべきことをしっかり行うことの大切さに気づき、実感を伴いながら楽しんでいる様子を見て頼もしさも感じました。さらには、6年生のけじめある素晴らしい行動がたくさん見られた2日間でした。

全員参加の学ぶべきことが多く、実り多き修学旅行となりました。また、子どもたちは、今回の就学旅行を通してたくさんの方々への感謝の思いを抱くこともできたと思います。

保護者の皆様、修学旅行を迎えるにあたり子どもたちの健康管理や準備物、出発時のお見送り、帰校時のお迎え等、大変お世話になりました。ありがとうございました。

